

勝間田城

静岡県史跡



された二の曲輪建物跡・土塁

中世の牧之原歴史略年表

時代	西暦	和暦	勝間田(勝田)・横地・相良氏の動向	歴史上の主な出来事
平安時代	975	天延3	相良氏の祖・藤原維兼遠江守となる。	保元の乱 平治の乱 平清盛、太政大臣となる。 源氏の挙兵 平氏滅亡、源頼朝、守護地領をおく。 源頼朝、鎌倉幕府を開く。
	1112	天永3	工藤周頼(姓藤原)相良氏を称し、相良庄に居住する。	
	1156	保元元	保元の乱が起こる。源義朝の元に勝田氏、横地氏が参陣する。	
	1159	平治元		
	1167	仁安2		
	1180	治承4		
	1181	養和元	勝田成長、横地長重、源頼朝の命により平氏の襲来に備えて遠江国橋本に出陣する。	
	1185	文治元		
	1195	建久6		
	1193	建久4	相良頼景が九州球磨郡多良木に移る。	
鎌倉時代	1195	建久6	東大寺大仏供養に勝田成長、横地長重、將軍源頼朝のお供をする。	
	1221	承久3		承久の乱
	1283	弘安6	平田寺開創。	鎌倉幕府滅亡 足利尊氏、室町幕府を開く。
	1294	永仁2	勝田長清の家にて、参議藤原為相(冷泉為相)、和歌を詠う。	
	1310	延慶3	勝田長清、夫木和歌抄の資料編纂を終わる。	
	〃	〃	平田寺の宝塔に「延慶三年庚戌正月願主沙弥如蓮」の名がある。	
	1312	正和元	勅撰和歌集の玉葉集に勝田長清の歌が入選する。	
	〃	〃	勝間田字中に「正和元年壬子七月廿九日」と刻んだ供養塔がある。	
	1333	元弘3		
		正慶2		
1338	延元3			
	暦応元			
室町時代	1353	正平8 文和2	勝田中務丞、今川範国の命により朝夷郷内、浅尾谷を平田寺に返還する。	
	1392	明德3		南北朝統一
	1399	応永6	応永の乱で勝間田 遠江守奮戦する。	応永の乱
	1438	永享10	永享の乱で勝田 弾正、横地長泰、戦死。	永享の乱
	1449	宝徳元	勝間田 庄中村に開祖勝間田十郎政次が長興寺を建立する。	応仁の乱
	1467	応仁元		
	1476	文明8	勝間田城、横地城、今川義忠により落城する。	
	1500	明応9	斯波氏討伐軍を編成、勝間田 盛次、甲州武田氏に仕える。	

参考資料 勝間田氏物語・横地城跡調査報告書他



勝間田城へのアクセス
 ■JR東海道本線金谷駅より
 しずてつジャストラインバス静波海岸入口行きで20分、中島バス停下車、徒歩20分
 ■東名牧之原ICより車で15分
 駐車場 牧之原市勝田2174-6 (P 10台有)

編集・発行 牧之原市教育委員会

〒421-0592 牧之原市相良275 TEL0548-53-2646